

## 2024年度 大垣女子短期大学 出前講座

分野 : 健康

テーマ : 歯周病と認知症の関連性 ～口腔ケアから始める認知症予防～

講師 : 歯科衛生学科 教授 松下健二

### ◆概要

近年、お口の代表的な疾患である歯周病と認知症の関連性が多数報告されています。本講座では、歯周病、歯周病菌と認知症の関連性、認知症の増悪機序、さらにはお口からはじめる認知症予防の可能性について解説します。

### ◆内容

近年、我が国において認知症患者数の急速な増加が見られ、2012年のデータでは認知症に罹患した高齢者の数は462万人（65歳以上の人口の15%）にも達していると推計されています。加えて、2025年では約700万人（高齢者の5人に1人）、2060年には1100万人以上（高齢者の3人に1人）が罹患すると見込まれています。認知症はいくつかの種類がありますが、最も頻度の高いアルツハイマー病をはじめ、その病因は十分に解明されておらず、治療法も確立されていません。このような現状のなかで、認知症が起こりやすくなる要素（危険因子）や発症・進行を抑制する因子を明らかにし、その情報を有効活用して対策を講じれば、認知症を予防して健康寿命を延ばせる可能性があります。近年、歯周病や歯周病菌がアルツハイマー病の病因に関わっていることが数多く報告されています。歯周病菌やその毒素がアルツハイマー病患者の脳から検出されています。歯周病菌を接種したマウスでは、認知機能の低下や老人斑（脳内のシミ）が脳内で増加することが確認されています。本講座では、認知症、特にアルツハイマー病と歯周病や歯周病菌との関連性を解説します。

用意するもの：液晶プロジェクター（Mac対応）、マイク

### ◆出講可能な時間帯

- ・前期（4月～7月） : 月曜日（午前・午後）、火曜日（午後）、金曜日（午後）
- ・後期（10月～1月） : 月曜日（午前）、木曜日（午後）

### ◆講師情報

- （1）専門分野 : 歯周病学、免疫学、口腔微生物学、老年歯学、抗加齢学、血管生物学、神経病態学
- （2）主な担当科目 : 病理学、歯科保存・修復学、栄養生化学、ヒトの体のしくみ
- （3）一言メッセージ : 中学生以上を対象とした、1時間程度の講義になります。気軽にご依頼ください。